



経済危機とコース管理

～社会環境変化に勝ち抜く倶楽部運営～

佐野ゴルフクラブの事例

第61回KGAグリーン研究講習会

平成23年7月21日

目次

1. 倶楽部概要
2. 倶楽部・経営の方針
3. 倶楽部・経営の方針の背景
 - ・ 歴史
 - ・ 経営の安定化
 - ・ 入場者を確保するために
4. 倶楽部・経営の方針実現への施策
5. まとめ

1. 倶楽部概要

佐野ゴルフクラブ

- 所在地：栃木県佐野市赤見町5170番地
- オープン：昭和49年10月
- コース面積：210万㎡（約70万坪）
 - 出流コース 18H・6,588Y・P72
 - 駒コース 18H・6,216Y・P72

- 運営企業

株式会社カネス

創立:昭和47年6月 従業員数:230名
資本金:3,700万円 売上:22億円(平成22年)
SGCスポーツプラザ、西軽井沢テニスクラブ、
スーパー銭湯、SGCゴルフガーデンの運営

2. 倶楽部・経営の方針

- モットー

より良いコースとより良いサービスで
お客様をお迎えする

会社は利益を出すことが目的であり、条件である
そのためにお客様のニーズを適確にとらえるとともに
創造して対応する

3. 倶楽部・経営の方針の背景

● 歴史

昭和49年10月 18ホールでオープン

昭和52年8月 経営危機により会社更生法を申請

昭和53年5月 全債権者と和解して会社更生法を
取り下げ

自由経営に戻る

3. 倶楽部・経営の方針の背景

- 経営の安定化

- 絶対に赤字を出さない
- 常に黒字であることが目標

**昭和53年～平成22年まで
31年間 黒字経営を継続**

<年間入場者数>

平成元年	101,625名(27ホール)
平成4年	106,139名(36ホール)
平成10年	100,186名(36ホール)
平成21年	87,512名(36ホール)

3. 倶楽部・経営の方針の背景

● 入場者を確保するために

- 協力会社主催冠のオープンコンペを開催
昭和53年10月より現在まで、毎年100回以上
- 除雪作業を強化
県内では一番早くオープン（雪が降りやめば、その日にオープン）
- 大型コンペの誘致強化
150人以上のコンペを毎年年間約10回開催
- 早割・アフタヌーンゴルフ(早朝スタートとアフタースタート)の営業強化
気軽にプレーできるのが人気
ナイター営業の開始(昭和62年5月より)
現在は、主に日照時間の短い時期に活用
- 玄関でのお出迎え
開場10周年から現在まで27年間継続。
メンバー・ビジターとの積極的な交流を図る
- コース内に花木を植樹
花水木・桜等、四季折々の花を楽しんでいただくため

4. 倶楽部・経営の方針実現への施策

- **お客様からのクレームを重視**
コースに対するクレームは、当日中に処理する
- **ボールマークの撲滅運動を実行**
ボールマーク修正は全従業員が実施する
- **毎月、誘客目標を各部・個人に割当**
達成したものには奨励金を支給する
- **実施作業計画表を全従業員に把握させる**
6ヶ月先までの実施作業計画をコース部全員が把握し、
コース管理の実施作業がスムーズに行えるよう指導強化

5.まとめ

ゴルフ界にも大きな変化が予想される

ゴルファーの変化
プレー代の安さ、アクセスの良さ、セルフプレーの気軽さ

協調と競争の時代へ

コース整備の良好なところ



グリーンの良好なコースが評価される